

塩尻商工会議所平成28年度経営発達支援計画実施状況に係る事業評価について

1. 評価点数 70点

2. ご意見

「1. 経営発達支援事業」の5つのうち「Ⅰ. 地域の経済動向調査事業」に関しては4項目中3項目で目標を達成（平成27年度は4項目全て達成）、「Ⅳ. 創業・第二創業（経営革新）支援」では3項目中2項目を達成（27年度も同様）、すなわちともに過半以上の項目で目標を達成しており、この点は評価できる。一方、「Ⅱ. 経営分析・需要動向調査・事業計画策定支援」では5項目中2項目（27年度も同様）、「Ⅴ. 小規模事業者販路開拓支援」では6項目中2項目（27年度は6項目中3項目）、「Ⅲ. 事業実施支援」の目標達成に至っては5項目中0項目（27年度は5項目中1項目）である。そもそも採択事業所数が少ないため、それと連動するかたちで他項目（巡回件数等）が少なくなっているが、前年度に比べても実績は悪くなっている。

「2. 地域経済の活性化に資する取り組み」の「Ⅰ. 地域経済活性化事業」ではシリゼミ開催店舗・受講者人数ともほぼ目標達成、また「3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み」では「Ⅰ. 他機関との情報交換」、「Ⅱ. 経営指導員等の資質向上等」も積極的に行われている。

しかしながら経営発達支援事業における目標達成が平成27年度（80点）に比べて低く、上記の評価点数となった。

松本大学 総合経営学部 教授 兼村 智也

1. 評価点数

昨年度は概ね計画を達成したと見られたものが、幾つかの主要な項目で未達となっており、昨年未達成だったものの改善がみられない点もある。ただ、引き続きシリゼミは積極的に実施されるなど、小規模事業者持続化補助金に直接係る項目以外は健闘が見られるため「65点」相当と判断します。

2. ご意見

未達の部分を中心にコメントを記します。

Ⅰ. 地域の経済動向調査事業では、4が未実施であるが、アンケートを実施するなど地道な地域経済動向などの把握が必要に思います。

Ⅱ. 経営分析・需要動向調査・事業計画策定支援では、1. セミナー受講企業は目標を達成しており、2の事業計画作成支援でも19者と目標達成しているが、本事業の目的であるアウトカムである採択が3者と少ない。そのためⅢ.事業実施支援においても、1. 融資後の事業実施への支援者数も3者でしかありえず目標の10社を下回っている。2. 採択事業所の巡回件数も結果的には採択が3者ということが影響している。4. 事業計画再策定支援も非採択事業者が16社の割には2者と少ない。また、3. 昨年採択事業所の巡回も9者×3回と考えるなら27回は実施すべきが、13回と未達にしても少ない。

Ⅴ. 小規模事業者販路開拓支援では、県中小企業振興センター主催の展示会について昨年度は「会議所に期待していない」との意向だったが、会議所での扱い等のPRがされたかどうか、改善努力がみられない。4. 東京オリンピックへ向けての売り込み先についても、昨年に引き続き0件というのは気になる。他の0件の項目と併せ目標が妥当かどうかの検討もお願いしたい。

小規模事業者持続化補助金に対する企業ニーズと使い勝手、それに係る会議所に対する指導ニーズや会議所の指導力、連携方法などが十分なのかどうかの検討をお願いしたい。

次年度は最終年度となりますが、当初の目的を再確認し、構造的に実施が不可能な項目を明らかにして、その分、他の項目で小規模事業者を支援するなどの対応・努力が必要のように思います。

長野経済研究所 調査部長 小澤 吉則